



羽水 Journal

中学3年生のみなさん、こんにちは。羽水高校です！

今年も学校生活の様子や羽水高校独自の取り組みなどについてお伝えしていきます。

新入生にインタビュー！

羽水高校には県内約 40 校もの中学校から生徒が集まっています。

そんな新入生のみなさんに高校生活への意気込み、中学校とはひと味違う羽水高校の魅力を教えてもらいました！



Q1：羽水高校で頑張りたいことはなんですか？

★大西さん(春江中)「文武両道です。」 ★谷さん(大東中)「自分の将来の夢を見つける。」

★見谷さん(大東中)「知らない人にも積極的に話しかける。」 ★齋藤さん(足羽中)「中学校にはなかった探究学習！」

Q2：入学して感じた羽水高校の魅力を教えてください！

★野尻さん(中央中)「先輩方がとっても優しい。先生方は面白くて毎日楽しい！」

★林さん(光陽中)「部活も学校も施設がめっちゃ充実していたこと。」 ★黒田さん(安居中)「生徒数は多くて学校が広い！」

★福島さん(至民中)「自販機があり、違うクラスに行って昼食を食べてもいいなど中学校と比べてかなり自由なところ。」

★毛利さん(足羽一中)「茶華道部や邦楽部など色々な部活があること」

今後も、中学生のみなさんの進路決定の参考になる情報をお届けしていきます！

羽水高校のホームページ＆ブログへはこちらからどうぞ👉



令和 6 年度卒業生 進路実績

＜国公立大学＞

北海道大学 大阪大学 名古屋工業大学 上越教育大学 富山大学 金沢大学 信州大学 京都教育大学 愛知教育大学
滋賀大学 徳島大学 鳥取大学 前橋工科大学 高崎経済大学 神奈川県立保健福祉大学 長野県立大学
公立諏訪東京理科大学 富山県立大学 公立小松大学 都留文科大学 兵庫県立大学
福井大学（教育学部9名、国際地域学部2名、工学部18名、医学部看護学科5名）
福井県立大学（経済学部19名、看護福祉学部7名、生物資源学部4名） など **合計103名**

＜私立大学＞

関西大学 同志社大学 立命館大学 青山学院大学 法政大学 明治大学 日本大学 金沢工業大学 福井工業大学
仁愛大学 福井医療大学 中京大学 名城大学 京都産業大学 龍谷大学 関西外国語大学 近畿大学 摂南大学
など **延べ286名**

受験生のみなさんへ ～卒業生からのメッセージ～

この度、日々の学習の積み重ねが実を結び、見事志望校への合格を果たした羽水高校卒業生から、
代表3名のメッセージをお届けします。

大阪大学 外国語学部 ビルマ語専攻 合格🌸 山田 太智さん(社中)



私が受験期を通して私が皆さんに伝えたいことは、「志望校を愛すること」です。1年生の前期から「阪大に絶対行きたい」と志し、周りにも伝えていました。しかし、テストでは思い通りの成果が出せないこともあり、志望校変更を何度も経験しました。どの志望校も自身の原動力にはならず、気づけば最初に目指した大阪大学に行きたい気持ちがどんどん強くなり、2年生の冬に志望校を大阪大学に決定しました。そこから、必死になって毎日12時間以上の勉強をし、合格することができました。この経験から皆さんに伝えたいことは、今目指している学校にどれだけの気持ちが込められているか、どれだけの愛を感じているかだと思います。せっかく目指すなら参考書を毎日握りしめて志望校のオーラを感じ取ってください。

福井大学 教育学部 初等教育コース 合格🌸 手銭 真麻さん(明倫中)



私はこの学部の共テなし推薦と共テ利用推薦不合格の後、一般前期試験で合格することができました。多難な受験期を経験し、これから受験と向き合う皆さんに伝えたいことがあります。それは「周りはライバルであると同時にお互いを高め合える仲間である」ということです。推薦入試で不合格通知を目にし、一気に押し寄せてきた不安や焦りから、目前に控えた一般入試の勉強に手がつかなくなりました。そんなときに助けになったのは、放課後一緒に自習室で努力する仲間が存在でした。共に励まし合い、教え合い、周りの仲間が勉強する姿を見て、自身の学習の原動力にしていました。受験生のみなさんの中に当てはまる人もいますが、家で積極的に机に向かえない私にとって、彼らの存在は自分を鼓舞することができたという点で貴重でした。結果的に、仲間の存在が私の可能性を引き出してくれたといえます。

福井県立大学 経済学部 経営学科 合格🌸 蒔田 美優里さん(森田中)



私は1年生の後期に福井県立大学の経済学部を知り、入学を強く望むようになりました。そして、推薦入試に挑戦しましたが結果は不合格でした。推薦入試に向けこれまでの学習時間を大幅に削って対策をしたため、一般入試の生徒と学習時間に差が開いてしまい、かなり焦りました。それでも、すぐに気持ちを切り替えて絶対に一般入試で合格出来るように最後まで努力を続けました。その際に実践した方法の中から受験生のみなさんも取り組みやすい方法を紹介いたします。それは、過去問や予想問題を解く際に時間を意識することです。私は時間を自分なりに各大問で設定し、時間内に解き終わるようにしました。そうすることで、自分がどの大問を苦手としているのか把握することができました。そして、その大問に時間を多く設定したり、逆にその分の時間を他の大問にあてたりし、高得点を取るための作戦を練ることができました。そのおかげで、本番でも時間を意識しながら解くことができ、捨て問も少なかったです。みなさんも、最後まで諦めずに自分を信じ、努力を続け、合格を勝ち取れることを心から祈っています。